

# 令和8年2月定例会 資料

長浜市教育委員会

## 令和8年2月長浜市教育委員会定例会 議事日程

令和8年2月18日(水) 午後2時30分～  
長浜市役所5階 教育委員会室

### 1. 開 会

### 2. 議 事

日程第1 会議録署名委員指名

日程第2 会議録の承認

1月定例会

日程第3 教育長の報告

日程第4 議案審議

議案第1号 第4期長浜市教育振興基本計画(案)について

議案第2号 議会の議決を経るべき教育関係議案に関する意見について

日程第5 協議・報告事項

なし

日程第6 その他

### 3. 閉 会

令和8年3月教育委員会臨時会 3月2日(月) 午後2時30分～

令和8年3月教育委員会定例会 3月26日(木) 午後2時30分～

第4期長浜市教育振興基本計画（案）について

令和8年2月12日付けで長浜市教育振興基本計画策定委員会から別紙のとおり答申のあった第4期長浜市教育振興基本計画（案）について、教育委員会の意見及び同意を求める。

令和8年2月18日提出

長浜市教育委員会 教育長 織田 恭淳

令和8年2月12日

長浜市教育委員会

教育長 織田 恭淳 様

長浜市教育振興基本計画策定委員会

委員長 平井 敏孝

第4期長浜市教育振興基本計画の策定について（答申）

令和7年1月30日付け長教総第10179号で諮問のありました件については、当委員会において慎重に審議を重ね、別添「第4期長浜市教育振興基本計画（案）」のとおり取りまとめましたので答申します。

近年、個々の状況に応じた適切な支援が求められています。しょうがいの有無、年齢、文化的・言語的背景、家庭環境などに関わらず、誰一人取り残されることなく、誰もが生き生きとした人生を享受できる共生社会の実現を目指す必要があります。また、変化の激しい予測困難な時代にあって、子どもたちが多様な人々と協力しながら社会の変化を乗り越え、一人ひとりの豊かで幸せな人生と社会の持続的な発展を実現していく力を育成していくことが求められています。

本市においては、全国的な傾向と同様に人口減少や少子化が進行しており、市内の多くの学校や園では小規模化が進み、教職員不足の現状において保育・教育の質を維持・向上する上での限界も指摘されているとともに、家庭環境の多様化や不登校児童生徒数の増加など、学校園を取り巻く状況は複雑化しています。

このような社会の変容や教育を取り巻く状況を踏まえ、教育分野では、これまでの取り組みを継続しつつ、近年の社会情勢や教育環境の変化によって生じた新たな課題にも対応していく必要があります。

それぞれが幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会においても幸せや豊かさを実感できるよう、日本の文化や価値観に根ざしたウェルビーイングの向上を重視していただきながら、今般策定する「豊かに生きる人づくり」を基本方針として掲げる第4期長浜市教育振興基本計画に基づき、適切に事業を展開されることを期待します。

## 第4期 長浜市教育振興基本計画(案)にかかるパブリックコメントの実施結果について

◆意見募集期間 令和7年12月17日(水)～令和8年1月16日(金)

◆提出された意見 1人 14件

◆意見内容と意見等に対する市の考え方

NO	該当頁	担当課	意見の要旨	意見等に対する市の考え方
1	1ページ	教育総務課	第1章では理念や進捗管理の方針が示されていますが、長浜市特有の教育課題(ア)少子化(イ)人口減少(ウ)中山間地域の教育条件(エ)教員不足(オ)家庭環境の多様化(カ)不登校の増加が十分に明示されていません。これらは全国共通の課題ではなく、長浜市が特に直面している重要な問題です。しかし第1章では、これらの課題が「計画の根拠」として十分に位置づけられていません。長浜市固有の課題を第1章で明確に示してはどうか。	ご意見を受け、1. 計画策定の趣旨の中に、長浜市特有の教育課題として「本市においては、全国的な傾向と同様に人口減少や少子化が進行しており、園児・児童・生徒の数は年々減少しています。それに伴い、市内の多くの学校や園で小規模化が進み、1学年1学級(単級)や複式学級が存在する学校規模では、教育・保育活動における運営上の課題が生じています。あわせて、教職員不足の現状において、教職員の必要十分な配置や教育課程の充実、教職員の働き方改革など、教育・保育の質を維持・向上する上での限界も指摘されているとともに、家庭環境の多様化や不登校児童生徒数の増加など、学校園を取り巻く状況は複雑化しています。」と追記します。
2	4ページ	教育総務課	進捗管理についても「検証する」と書かれているだけで、誰が・どの指標で・どの頻度で評価するのかが不明確です。年1回の進捗報告書の作成と公表を義務化KPI(数値目標)を設定し、達成状況を市民に公開する仕組みを明記していただきたい。	ご意見を受け、5. 計画の進捗管理の中に、「目標値」について、「毎年度当初に教育振興基本計画実施プランを策定し、」と「外部委員による事務評価委員会を開催し、計画に掲げた各施策の進捗管理目標の達成状況などにより、実施した施策や取組の点検及び評価を行います。この結果に関する報告書を作成し、ホームページにて公表するとともに、」と追記します。
3、4、5、6	5ページから	各課	成果と課題が整理されていますが、データ分析が浅く、原因分析が不足しています。 (ア)学力の課題(イ)不登校の増加(ウ)教員の多忙化(エ)ICT活用などこれらは「課題」として挙げられているものの、なぜそうなったのか、どの層で深刻なのか、学校間の差はどうかといった分析が不足しています。また、成果の裏側にある「教員の負担増」や「家庭の負担」についての評価が出来ていないと思います。 全国・県平均との比較データを追加、学校間・地域間、家庭環境等の格差を分析成果と同時に「負担」も評価し、課題に優先順位をつけていただきたいと思えます。	ご意見を受け、次のとおり具体的な施策に、文章を追記・変更します。

## 第4期 長浜市教育振興基本計画(案)にかかるパブリックコメントの実施結果について

◆意見募集期間 令和7年12月17日(水)～令和8年1月16日(金)

◆提出された意見 1人 14件

◆意見内容と意見等に対する市の考え方

NO	該当頁	担当課	意見の要旨	意見等に対する市の考え方
3	8ページ	教育指導課	(ア)学力の課題	<p>具体的な施策(11) 各学校の特色を生かしたカリキュラム・マネジメントの実施</p> <p><b>【主な取組と成果】</b>            学力に関する詳細な分析については、市および各学校で継続して実施し、全国学力・学習状況調査の結果・分析は市ホームページで公表しています。そのため、計画案のままとさせていただきたいと思えます。ご意見のとおり、今後も詳細な分析は継続し、その結果を授業改善や学習支援の充実に確実につなげてまいります。</p> <p><b>【今後の課題】</b>            ・「地域教育資源の発掘・活用や外部機関等との連絡調整、家庭における協力等が必要である。」と追記します。            ・「長浜市の全国学力・学習状況調査(国語、算数・数学)の結果は、小学校・中学校ともに正答率が全国平均に届いていない。また、正答率の分布を比較すると、低位層の割合が高い。この要因として、個に応じた学習への配慮が不十分で、基礎的な内容の定着が図られていないことが考えられる。子どもたちの主体的な学びを促進するために、長浜スタイルを基にした授業改善を図り、学力向上につなげる必要がある。さらに、日々の授業を通して、教科等で身につける力と子どもたちが学びに向かう力を育む教育を目指すとともに、学校での学びを家庭学習にもつなげる必要がある。」と追記します。</p>
4	7ページ	教育指導課	(イ)不登校の増加	<p>具体的な施策(9) 多様な学びの場を求める子どもや保護者の支援</p> <p><b>【主な取組と成果】</b>            ・「経験の浅い教員や小規模校の教員は、孤立感から過度な負担を抱える傾向にある。特に、」学校に対して不適応状態にある児童生徒に対し「ては、チーム学校として対応する必要がある。」必要に応じてスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、作業療法士などの専門家と連携して多面的に見立てを行い、保護者や学校ときめ細かな教育相談を実施「し、寄り添う形で伴走を行った。」と追記します。            ・「こどもサポートルームなないろ」に「(校外教育支援センター)」と追加します。</p> <p><b>【今後の課題】</b>            ・「不登校やいじめ、虐待等の」児童生徒の課題は多様化・複雑化している。「全国的な傾向と同様、家庭環境の困窮や発達上の特性、精神的ケアを要するケースが増加しており、」と追加します。            ・「100人あたりの不登校児童生徒数は小学校中学校共に、令和6年度については全国よりやや高い水準である。分析によれば、特に中学校で増加が顕著であり、背景にはコロナ禍以降の登校に対する意識の変化や地域とのつながりの希薄化、さらに集団適応の困難さなど複合的な要因が考えられる。こうした中、」と追加します。            ・「こどもサポートルームなないろ」に「(校外教育支援センター)」を追記します。</p>

## 第4期 長浜市教育振興基本計画(案)にかかるパブリックコメントの実施結果について

◆意見募集期間 令和7年12月17日(水)～令和8年1月16日(金)

◆提出された意見 1人 14件

◆意見内容と意見等に対する市の考え方

NO	該当頁	担当課	意見の要旨	意見等に対する市の考え方
5	19ページ	教育指導課	(ウ)教員の多忙化	<p>具体的な施策(50) 教職員の働き方改革の推進</p> <p>【主な取組と成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「教育委員会への提出書類の精選や校務支援システムの掲示板機能等の活用により、情報共有にかかる時間の圧縮にも成功しており、「令和9年度 月平均超過勤務45時間超え職員0%」を目標に、教員の意識改革も進んでいる。」と追記します。</li> <li>・「保護者との連絡手段のデジタル化は利便性を高めた反面、操作に慣れるまでの負担感はあったものの、徐々に解消しつつある。」と追記します。</li> </ul>
	20、62、63ページ			<p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「超過勤務時間および基準超過者の割合は横ばい、あるいは微減に留まっており、依然として繁忙期には約7割の職員が基準を超過するなど、長時間勤務の固定化が課題である。特に、教頭等の管理職への業務集中が全体の数値を押し上げている。令和8年度導入の新勤怠システムによる客観的データ分析を軸に、特定の校務分掌に依存しない「チーム担任制」の導入や組織体制の抜本的な転換が求められている。」</li> <li>・「ICT活用による効率化が進む一方で、教材作成等の初期負担やスキル差による教育・業務の質の格差、デジタルとアナログの二重管理といった新たな課題が顕在化している。また、勤務時間外でも連絡が届くことへの心理的圧迫感や、保護者からの要望に対する即時対応への負担感など、デジタル化に伴う精神的疲弊が心配される。園・学校と家庭の双方が納得できる運用の最適化を急ぐ必要がある。」</li> <li>・「業務の効率化や負担軽減が図られつつあるものの、保育者として働くことの魅力ややりがいを感じられる職場づくりや資質向上に向けて、職員の業務改善の意識を高めながら、引き続き取り組む必要がある。」と全体を変更します。</li> </ul> <p>あわせて、資料1に本市の教職員の勤務時間等の状況を追加します。</p>
6	10、52、53ページ	教育改革推進課	(エ)ICT活用	<p>具体的な施策(15) 教育の情報化の推進</p> <p>【主な取組と成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「大多数の教員が学校教育活動に有用となるICT活用指導力を有しており、全国データとの比較においても、全国値を上回る結果がでている。」と追記します。</li> <li>・「校務の効率化によるクラス担任・教務主任の業務負担の軽減や、デジタル採点システムの利用による教員の採点時間の削減など、」と追記します。</li> </ul> <p>あわせて、資料1に学校ICTの活用状況を追加します。</p>

## 第4期 長浜市教育振興基本計画(案)にかかるパブリックコメントの実施結果について

◆意見募集期間 令和7年12月17日(水)～令和8年1月16日(金)

◆提出された意見 1人 14件

◆意見内容と意見等に対する市の考え方

NO	該当頁	担当課	意見の要旨	意見等に対する市の考え方
7	21、22ページ	教育総務課	<p>第3章は理念としては美しいものの、抽象的で、現場が何をすべきかが見えません。</p> <p>(ア)「豊かな人間性」(イ)「自立した市民」(ウ)「地域とともに育つ」これらは方向性としては正しいですが、子ども・保護者・教員・地域の役割が整理されていないため、学校現場に落とし込むことが難しい構造となっていると思います、</p> <p>また、国の教育振興基本計画との接続も表面的で、長浜市として何をこどもの為に重視するのかが不明確です。</p> <p>保護者・地域ごとの「期待される行動」を明示、国の計画のどの部分を特に重視するか明確化していただき、「子どものウェルビーイング」を中心に据えていただきたいと思います。</p>	<p>第3章については本市のめざす姿や教育行政に関する大きな方向性を示しているため、文末に「長浜市教育大綱の6つの基本目標の実現に向けて、次の第4章 今後5年間の施策展開のとおり取組を進めます。」と追記し、計画案のままとさせていただきたいと思います。</p> <p>また、(ア)「豊かな人間性」(イ)「自立した市民」(ウ)「地域とともに育つ」これら子ども・保護者・教員・地域ごとの「期待される行動」については、第4章の各具体的な施策の内容に記載し、国の計画のどの部分を特に重視するかにつきましては、第1章計画策定の趣旨において、「変化の激しい予測困難な時代においても、子どもたちが多様な人々と協力しながら様々な社会的変化を乗り越え、一人ひとりの豊かで幸せな人生と社会の持続的な発展を実現していく力を育成すること」と記載しています。</p> <p>ご意見のとおり、計画の実現に向けて、「子どものウェルビーイング」を中心に取組を進めていきたいと考えています。</p>
8	23ページから	教育総務課	<p>第4章(今後5年間の施策展開)について</p> <p>第4章は計画の中心ですが、施策がカタログ状で、優先順位・実行性・財源が不明確です。改善提案として、(ア)施策に優先順位をつける、(イ)施策ごとのKPI(数値目標)を設定、(ウ)財源・人員計画を明示、(エ)全校共通のCMS(ホームページ更新システム)導入、(オ)ICT支援員の役割拡大(HP更新支援を含む)、(カ)不登校のタイプ別支援モデルの導入</p> <p>特に次の①から⑤の点が問題です。</p>	<p>(ア)本計画に掲げる各教育施策は、いずれも本市の教育振興を図るうえで不可欠なものであり、相互に関連しあいながら教育の質の向上に寄与するものです。各施策の推進にあたっては、社会情勢や教育を取り巻く環境の変化、各年度における課題や財政状況等を踏まえ、重点的に取り組む事項を明確にししながら、総合的かつ計画的に推進してまいります。</p> <p>(イ)施策ごとのKPI(数値目標)を設定については、進捗管理目標として数値目標を定めています。(ウ)財源・人員計画については、市の長浜市定員管理基本方針や財政計画に準じて進めていきます。</p> <p>①から⑤の点につきましては、ご意見を受け、次のとおり追記・変更します。</p>
9	46ページ	教育指導課	<p>①教師の能力向上の具体策が弱く研修時間の確保方法が示されていない。また、支援員増員などの体制整備が不十分で、個別最適化に対応するための時間確保策がない</p>	<p>具体的な施策(36) 多様な研修を体系化し、教師力の向上を図ります</p> <p>・「実践的な研修として、他校園の研究授業への参加等を通じて、授業改善の具体策を学ぶ機会を充実させます。また、柔軟な働き方が可能な夏季にはICT活用や生徒指導など、専門的な研修を実施します。さらに、集合型研修に加え、オンライン研修やオンデマンド研修など、学びの機会の拡充を図ります。教育課題解決力の向上を目指し、保育力、授業力、指導力、マネジメント能力等、今求められている「教師力」を高める研修の充実に取り組みます。」と追記します。</p>

## 第4期 長浜市教育振興基本計画(案)にかかるパブリックコメントの実施結果について

◆意見募集期間 令和7年12月17日(水)～令和8年1月16日(金)

◆提出された意見 1人 14件

◆意見内容と意見等に対する市の考え方

NO	該当頁	担当課	意見の要旨	意見等に対する市の考え方
10	28ページ	教育指導課	②家庭環境の多様化への対応が弱い 学習支援・居場所支援の拡充が不十分で経済的困難家庭への支援が体系化されていない	<p>具体的な施策(7) すべての子どもたちが安心して学ぶ“機会”を提供します</p> <p>・「強化する」 ・「特に、経済的困難や地域とのつながりの希薄化など、複雑化する家庭環境への対応として、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門家と福祉・労働・医療等の関係部局との連携を一層強化します。具体的には、就学援助による経済的支援の適切な案内や、必要に応じた関係施策への迅速な「つなぎ」を体系化し、家庭の状況に寄り添った包括的な支援体制の充実を図ります。」と追記します。</p>
11	28ページ	教育指導課	③不登校支援が抽象的 タイプ別支援モデルがなく、別室登校・オンライン学習の位置づけが曖昧	<p>具体的な施策(7) すべての子どもたちが安心して学ぶ“機会”を提供します</p> <p>・「また、学びの保障に向けて、校内教育支援センター(別室)での柔軟な指導やICTによるオンライン学習支援などを「適切な学習機会」と明確に位置づけ、その充実を図ります。さらに、令和8年4月から学びの多様化学校」を開校し、引き続き「こどもサポートルームなないろ(校外教育支援センター)」における取組も進めます。民間施設等とも連携して」 ・「とともに安心して学ぶ機会の提供に取り組んでいきます。」と追記します。</p>
12	34ページ	教育指導課	④学校文化(挨拶・人間関係)への対策がない 地域の方などへ挨拶ができない子ども・教員が増えている現状への言及がない	<p>具体的な施策(15) 対話とふれあいを通して、道徳教育・人権教育を推進します</p> <p>・「また、挨拶をはじめとした望ましい人間関係づくりを重視し、挨拶を意識した日常的な声かけや対話の機会の充実などを通して、互いを尊重し合う学校文化の醸成に取り組みます。」と追記します。</p>
13	31ページ	教育改革推進課	⑤ICT教育の基盤が整っていない (エ)全校共通のCMS(ホームページ更新システム)導入 ※(スマホ対応・テンプレート統一・更新作業の簡素化・教員の負担軽減・情報の標準化) (オ)ICT支援員の役割拡大(HP更新支援を含む)	<p>具体的な施策(11) 授業改善および教職員の働き方改革に資する教育DXを推進します</p> <p>ご提案いただいた(エ)全校共通のCMS(ホームページ更新システム)導入等、(オ)ICT支援員の役割拡大については、教育DXによる工夫改善に含まれるため、計画案のままとさせていただきます。 次年度以降に、ホームページ作成ソフトの統一やICT支援員等による支援を行い、学校ホームページの更新を進めていく予定です。</p>

## 第4期 長浜市教育振興基本計画(案)にかかるパブリックコメントの実施結果について

◆意見募集期間 令和7年12月17日(水)～令和8年1月16日(金)

◆提出された意見 1人 14件

◆意見内容と意見等に対する市の考え方

NO	該当頁	担当課	意見の要旨	意見等に対する市の考え方
14	全体	教育総務課	<p>現場の課題(教師の能力・家庭環境・不登校・学校文化・ICTの遅れ)に対する実効性が不足しています。このままでは、「やるが増えるだけで、現場は変わらない」という結果になる可能性となるかもしれないのでこうした指摘点をできるだけ改善いただきたいと思えます。</p> <p>教育の原点は、現場にあることを踏まえ各学校の問題点を少しでも解決できる分析を行い新しい計画を目指していただきたいと思えます。</p>	<p>ご意見を受け、計画を進める中で見えてきた現場の課題については、各学校等の問題点を少しでも解決できるように分析を行い、毎年度の教育振興基本計画実施プランにおいてできる限り反映させ、今計画を実効性のあるものとしていきたいと考えています。</p> <p>現場の課題については、子どもたちが安心して学校生活を送れるように、いじめや不登校を含む様々な問題に対して組織的な対策を強化するとともに、不登校の児童生徒には個別の状況に応じた柔軟な支援を組織的に実施します。特に経済的困難や地域とのつながりの希薄化など、多様化・複雑化する児童生徒の課題については、スクールソーシャルワーカー等の専門家と福祉・労働・医療等の関係部局との連携を一層強化します。</p> <p>また、すべての子どもが自尊感情を高めながら過ごせる教育機会の確保に向けて、学びの保障に向けた柔軟な指導の充実や多様な学びの機会の提供等に取り組むとともに、挨拶を意識した日常的な声かけや対話の機会の充実などを通じた互いを尊重し合う学校文化の醸成などに取り組みます。</p> <p>あわせて、統合型校務支援システムの活用等による教職員の業務負担の軽減をめざすとともに、各現場での個別最適な学びの実現に向けた主体的な研修の推進や支援を行い、今求められている「教師力」を高める研修の充実に取り組めます。</p> <p>当計画に掲げる施策を効果的かつ確実に推進していくため、PDCAサイクルの考え方にもとづき、計画の進捗管理をしっかりと行ってまいります。</p>

議会の議決を経るべき教育関係議案に関する意見について

議会の議決を経るべき教育関係議案に関して原案のとおり同意することについて、教育委員会の議決を求める。

令和8年2月18日提出

長浜市教育委員会 教育長 織田 恭淳